

一般職試験(大卒程度試験)

【専門試験(多肢選択式)】(建築)

「建築」区分は、工学の基礎に関する問題が20題、建築分野に関する問題が13題の計33題で構成されており、その全てを解答する必要があります。

建築分野に関する問題は、次のとおり出題されます。

- (1) 構造力学(建築)・建築構造 4題
- (2) 建築材料・建築施工 2題
- (3) 環境工学(建築)・建築設備 3題
- (4) 建築史・建築計画・建築法規・都市計画 4題

<受験者へのメッセージ>

工学の基礎に関する問題は、大卒程度の基礎学力を確認する観点から、「数学」及び「物理」から、幅広い分野の問題が出題されます。



建築分野に関する問題は、分野の幅は広いですが、基礎的な知識を問う内容ですので、大学の専門課程で学習する基本的な教科書を中心に勉強するとよいでしょう。



構造力学(建築)は、計算問題が出題される頻度が高いですが、複雑な計算は求めないので、基本的な解法を理解していれば、大丈夫です。



教科書に記載されている建築分野に関する基礎的な用語の意味・内容を正しく理解しておく必要があります。

